

トラブルシューター啓発セミナー

～司法と福祉をつなぐ新たな人材養成に向けて～

トラブルシューターって？

トラブルシューターとは、“紛争解決者”、Trouble(問題)をshoot(解決)する人のことです。

社会的トラブルが地域で起こり、そこに障がいのある方が関わってしまった場合、本人に寄り添える人の存在はとても重要です。地域で起こる問題を本人と一緒に解決し、また、そういった問題を未然に防ぐ人材養成に向けて、今回の研修を開催します。

トラブルシューター = 地域のもめ事解決屋として徹底して本人により添える、骨太の人材です。

開 催 要 旨

- ◆日 時 平成25年8月25日(日) 10:00～16:30
- ◆会 場 大田区民ホール・アプリコ 地下1階展示室

- ◆内 容 【講義1】堀江 まゆみ 氏 (白梅学園大学教授)
～トラブルシューターとは何か、なぜ必要か～
【講義2】浦崎 寛泰 氏 (弁護士)
～刑事手続きでトラブルシューターは何をやるか～

昼 休 憩

※昼食は各自でご用意ください。

- 【講義3】安藤 久美子 氏 (精神科医)
～医療・心理・福祉から、罪に問われた障がい者の支援を考える～

【グループディスカッション】

【全体討議】

- ◆定 員 100名(先着順)
- ◆申込み 裏面をご覧ください。申込締切りは、8月5日(月)です。
- ◆対象者 障がい者の支援に関わっている方、弁護士、医者、家族行政職員、その他興味のある方

協 力

NPO法人

PandA-Jōi
Protection & Advocacy Japan

問 合 せ 先

大田区福祉部障害福祉課障害者支援担当(計画)
(大田区自立支援協議会事務局)
電話 03-5744-1700
FAX 03-5744-1592

講師紹介

◆堀江 まゆみ

白梅学園大学教授

日本特殊教育学会会員、日本教育心理学会学会員、日本発達心理学会学会員

日本発達障害学会学会員、日本質的心理学会

◆浦崎 寛泰

日本司法支援センター(法テラス)業務支援室 専門非常勤職員

東京弁護士会 高齢者・障害者の権利に関する特別委員会 委員

日本弁護士連合会 高齢者・障害者の権利に関する委員会 幹事

◆安藤 久美子

独立行政法人国立精神・神経医療研究センター

精神保健研究所司法精神医学研究部精神鑑定研究所室長、医師、臨床心理士

精神科専門医・指導医、精神保健指定医・判定医、産業医

主催者紹介

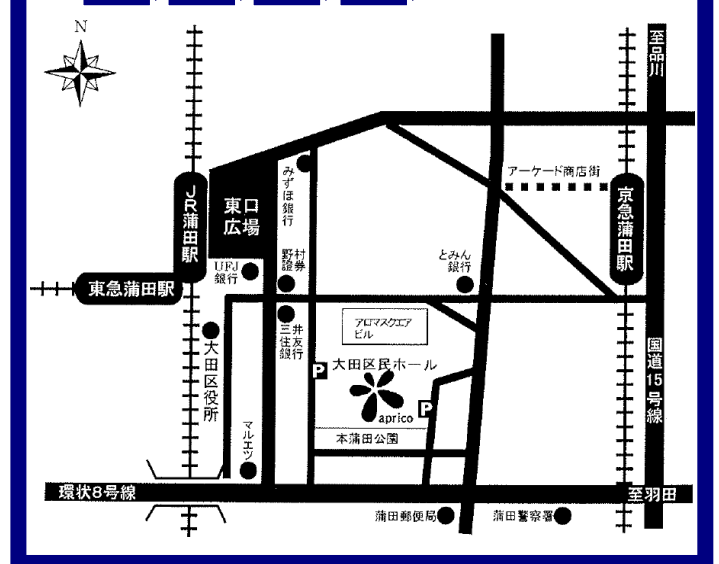
【共生社会を創る愛の基金コア研究班】

厚生労働省:村木厚子氏がいわゆる「郵便不正冤罪事件」に係る国家賠償金を触法障害者の社会復帰支援等の活動を行っている「社会福祉法人南高愛隣会(コロニー雲仙)」(長崎県)に全額(弁護士費用を除く)寄付し、これを原資に同会内に「共生社会を創る愛の基金」が設立されました。

基金の事業内容は以下のとおりです。

- (1) 触法障がい者の支援に関する事業
- (2) 共生社会推進に関する事業
- (3) その他必要な事業

会場地図



※駐車場料金: 100円/15分

申込み方法

- ◆ 以下の申込欄にご記入の上、FAXにてご提出ください。
- ◆ 申込締切りは、8月5日(月)です。
- ◆ 手話通訳者をご希望の方は、申込欄の「手話通訳希望有」に○をつけてください。

申込欄 【宛先:大田区自立支援協議会事務局 FAX 5744-1592】

氏名(ふりがな)	所属	連絡先(電話またはFAX)	手話通訳希望有